

施策番号	1401		
施策名	お互いに認め合い支え合ってくらすまちづくり		
概要	すべての人が個人として尊重されるよう市民意識の向上を図るとともに、障害のあるひとが積極的に社会参加できるよう、情報発信・相談支援の強化を進める。		
担当局・部室	保健福祉局・障害保健福祉推進室	共管局・部室	
上位政策	14 障害者福祉		
施策に係る主な分野別計画等	支えあうまち・京（みやこ）のほほえみプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	移動支援の利用時間数(時間)	b	b	44,492	40,914	48,400	84.5%	c	1.00
2	手話通訳等登録者数(人)	-	-	—	344	324	106.2%	a	1.00
3	日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)契約件数(件)	a	a	502	530	502	105.6%	a	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	障害への理解が進み、障害のあるひとでもないひととも、認め合い、支え合ってくらせるまちになっている。	30 5.8%	126 24.3%	242 46.7%	78 15.1%	42 8.1%	518	c
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						C



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 障害のあるひとに対する日常生活やコミュニケーションの支援などの取組は、対象が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						24年度	B
(原因分析) ・障害のあるひとに対する情報・コミュニケーション支援や権利擁護施策への需要が増加し、また、日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)の利用者も年々増加してきている状況にある中、客観評価ではa評価となった。 ・一方、市民生活実感調査はc評価とかい離があり、すべての市民が障害のある人に対する正しい知識と認識を深められるよう、市民意識の向上を図っていく必要がある。						23年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	障害者スポーツ振興事業	60,155	57,528	良い	保健福祉局
2	障害者社会参加促進事業	127,845	127,449	良い	保健福祉局
3	障害者権利擁護推進事業	10,226	11,213	良い	保健福祉局
4	障害者相談員設置	12,691	14,138	良い	保健福祉局
5	福祉乗車証交付事業	1,680,221	1,607,735	—	保健福祉局
6	障害者情報バリアフリー化支援事業	2,851	2,356	かなり良い	保健福祉局
7	身体障害者デイサービスセンター運営補助	74,967	74,967	良い	保健福祉局
8	こころのふれあい交流サロン	41,001	39,986	良い	保健福祉局
9	障害者虐待防止対策事業	5,151	10,813	かなり良い	保健福祉局
10	命の大切さと生きる勇氣・力を取り戻すための支援の充実	31,288	32,665	良い	保健福祉局
11	ほほえみ交流活動支援事業	—	11,046	—	保健福祉局
12	こころの健康増進センター管理運営	237,957	230,438	良い	保健福祉局
13	京都市障害者教養文化・体育会館運営	27,668	27,542	—	保健福祉局
14	障害者スポーツセンター	212,822	212,547	—	保健福祉局
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・障害のある人に対する福祉サービスや社会参加のための環境整備は着実に拡充している状況にあるが、市民や障害者団体等と協働し、平成25年3月に策定した「支えあうまち・京都ほほえみプラン（京都市障害者施策推進計画）」に基づき、引き続き障害や障害のあるひとに対する正しい理解と認識を深める取組を進めていく。

施策名	1401	お互いに認め合い支え合ってくらすまちづくり				
-----	------	-----------------------	--	--	--	--

指標名	移動支援の利用時間数（時間）					
-----	----------------	--	--	--	--	--

担当課	障害保健福祉推進室		連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1		
-----	-----------	--	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

屋外での移動が困難な障害のある方を対象に、社会生活及び社会参加を目的として実施している移動支援事業（ガイドヘルパーの派遣）の一月当たりの利用時間数

2 指標の意味

障害がある方の外出の機会を促進し、社会参加しやすい環境づくりの進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：年間延べ利用時間数÷12月
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	23年度	24年度		数値	根拠	
数値	44,492	40,914	3,578時間減	48,400	平成21年度現況値（42,980）を基に、今後の各年度推計利用者数の伸び率を乗じて算出	84.5%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

当該指標については障害者の外出機会の促進状況を表すものであることから、100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

23	24	25
b	b	c

指標名	手話通訳等登録者数（人）					
-----	--------------	--	--	--	--	--

担当課	障害保健福祉推進室		連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1		
-----	-----------	--	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

手話通訳者・要約筆記者の派遣登録者及び点訳・音訳奉仕員の登録者数

2 指標の意味

障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた情報・コミュニケーション支援の進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：各登録者全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	23年度	24年度		数値	根拠	
数値	—	344	—	324	過去3年間の登録者数の平均伸び率から算出した必要登録者数	106.2%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

当該指標については、毎年度登録人員に増減があるため、100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

23	24	25
-	-	a

施策名	1401	お互いに認め合い支え合ってくらすまちづくり										
指標名	日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）契約件数(件)											
担当課	地域福祉課		連絡先	2 5 1－1 1 7 5								
1 指標の説明 認知症高齢者，知的障害者や精神障害のあるひとなど，判断力が不十分なために福祉サービスを十分に利用できないひとなどを援助する日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の契約件数												
2 指標の意味 判断力が不十分な方に対する地域福祉サービスの充実度を示す指標				3 算出方法・出典等 算出方法：助成団体全数調査 出典：事業担当課調べ								
4 数値												
	前回数値 23年度	最新数値 24年度	推移	目標値								
				数値	根拠	達成度						
数値	502	530	28件増	502	過去最高値	105.6%						
	全国順位	中長期目標				備考 地域福祉権利擁護事業を「日常生活自立支援事業」へ名称変更したため，指標名も同様に変更した。						
		数値	目標年次	達成度	根拠							
数値												
5 評価基準 最新数値が a：過去最高値以上 b：過去最高値と上中間（最高値と平均値の間）との間 c：上中間地と平均値の間 d：平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間 e：下中間以下			6 基準説明 当該指標については民間部門の寄与度が高いことから，過去5年間の数値を基に，最高値以上をa，平均値以上をcとし，最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：502件（平成23年度） 平均値：411件 最低値：321件（平成19年度）			7 評価結果						
						<table><tr><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr><tr><td>a</td><td>a</td><td>a</td></tr></table>	23	24	25	a	a	a
23	24	25										
a	a	a										